

# 主な施策事業を紹介

## 健やかな心身と思いやりを育む安心のまちづくり

～健康・福祉部門～

- 拡充** 予防接種事業費 7,328万円  
予防接種助成事業に高額な費用のかかるロタウイルスワクチンを新たに追加し、子育て世帯の負担軽減を図ります。
- 拡充** 健康診査事業費 3,871万円  
町民の健康の推進を図るため、各種がん検診に新たに胃がん健診を追加し、がんの早期発見に努めます。
- 新規** ハッピー子育て情報発信事業 56万円  
出産・子育ての不安を軽減するため、産前は胎児の成長過程と生活アドバイスを、産後は子どもの成長過程に合わせた育児アドバイスを発信します。
- 拡充** 不妊治療費助成事業 525万円  
高額の治療費がかかる不妊治療に要する費用の一部を助成することで負担軽減を図ります。

## 豊かさを実感できる活力あるまちづくり

～産業部門～

- 拡充** 潤沼自然公園イベント事業費 230万円  
「あじさいまつり」に加えて、新たなイベントを開催することで、潤沼自然公園のイメージアップを図ります。
- 新規** 援農隊マッチング支援事業 251万円  
定植期や収穫期等の作業ピーク時に必要となる労働力の確保のため、援農者を募ります。

## 安全で快適な生活環境整備を目指すまちづくり

～生活・インフラ(生活基盤)分野～

- 拡充** 安全安心な道路づくり事業 1億9,300万円  
町道203号線や町道114号線の道路補修、大戸橋の橋梁補修を行い、より安全な道路づくりに努めます。
- 拡充** 道路橋梁維持補修事業費 1億1,494万円  
町道102号線の舗装や川根橋の塵除け及び地区要望に対応する補修工事を行っていきます。

## 充実した教育と安心コミュニティのまちづくり

～教育・文化・コミュニティ分野～

- 拡充** 小学校スクールバス運行事業費 1億148万円  
青葉小学校に加え、平成28年4月1日より葵小学校が開校したことに伴い、遠距離通学となる児童に対し、新たに6台のバスを運行します。
- 拡充** 教育用コンピュータ関係経費 4,690万円  
小中学校にタブレットと電子黒板を導入し、教育の推進を図ります。
- 新規** 旧駒場小校舎整備事業 1億5,232万円  
閉校した駒場小校舎を利活用し、教育関連施設として会議室・研修室などを充実させます。
- 継続** 中学生自然体験教室事業費 1,045万円  
明光中と青葉中の2年生が集団生活を共にすることで、協力・自立の心を育むとともに、生徒同士の交流を図ります。

## 安全・安心で活力あるまちづくり

- 拡充** 茨城町ふるさと寄附金関係経費 2,924万円  
ふるさと納税のPR及びふるさと納税をされた方に対して贈答する特産品の充実を図ります。
- 新規** 防災行政無線施設整備費 1,889万円  
町内の防災行政無線をデジタル化することにより、通信の多様化・高度化を図ります。
- 新規** 移住・定住促進事業費 200万円  
定住化の促進及び地域住民と定住希望者の橋渡し役となる、定住コンシェルジュを配置します。

# 平成28年度 当初予算

平成28年度  
当初予算が  
決まりました。

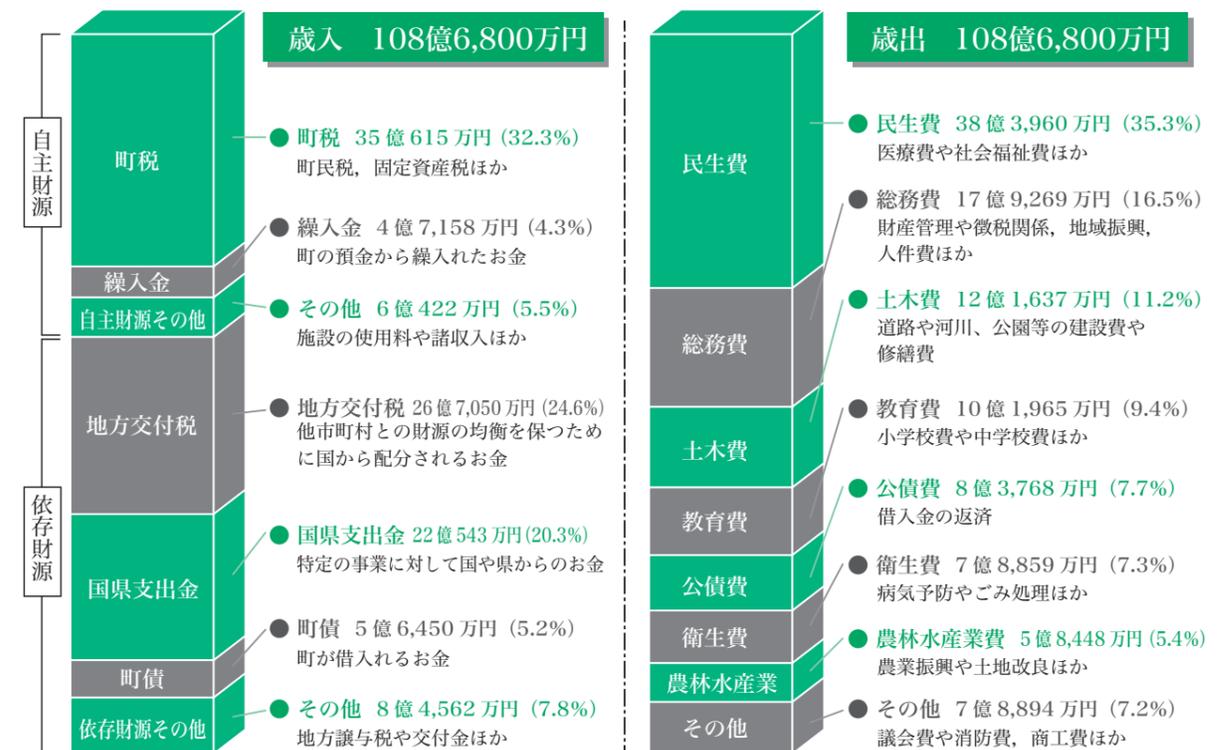


予算総額 213億5,594万円 (前年度比▲1.4%)

一般会計 108億6,800万円 (前年度比▲2.8%)  
特別会計 104億8,794万円 (前年度比+1.3%)

平成28年度の茨城町の一般会計予算は108億6,800万円で、前年度より3億1,500万円の減となりました。限りある財源を生かすため、より効果のある事業へ重点的に配分し、充実した予算を実現しました。また、消費税の増税分は社会保障財源分として、医療福祉や社会福祉へと充当していきます。

## 一般会計



## 特別会計及び公営企業

平成28年度の茨城町の特別会計及び公営企業の予算は104億8,794万円となり、前年度より1,329万円の増となりました。

国民健康保険	50億2,823万円
後期高齢者医療保険	3億1,774万円
介護保険	29億1,457万円
農業集落排水事業	2億7,902万円
公共下水道事業	7億1,010万円
水道事業	12億3,346万円
工業用水道事業	482万円
合計	104億8,794万円

## 社会保障財源分

消費税増税分は社会保障財源分として、下記の費用に配分していきます。茨城町では社会保障財源分は2億3,730万円と前年度より1,820万円の増となっております。

社会福祉費	6,760万円
社会保険費	1億3,320万円
保健衛生費	3,650万円
合計	2億3,730万円